第 37 回耐震基準小委員会　議事録

日時：平成 18 年 7 月 6 日（木）10:00～12:00
場所：土木学会講堂
出席者：１２名
配布資料
　36-1　第 36 回耐震基準小委員会　議事録（案）
　36-2　ISO23469 適合設計資料集 WG 報告（土木耐震国際規格開発委員会）
　36-3　土木学会・地震工学委員会・耐震基準小委員会　ホームページについて

議事次第
１．議事録の確認

２．ワーキング報告
①耐震設計法ガイドライン WG（当麻委員）
・こらから刊行に向けて最後の作業に入る.
・原稿の HP での公開を行い，意見を聞く.

②設計事例集 WG（工藤委員，資料 36-2）
・ISO23469 適合設計資料集 WG の今後の計画.
・第 6 回 WG 以降の活動概要報告.
・設計事例集を平成 19 年 3 月には完成させる予定.
　港湾構造物の岸壁については英語の事例集がほぼ完成.
　地下タンク，盛土　日本語の簡単な事例集が，作成済み.
・委員長からの要望
　　日本語の方をメインでやってほしい.
　　委員の中から事例提供をお願いしたい.
　　日本語の作成例のフォーマットを作り，それを委員に送付して頂きたい.

③経済性照査 WG（澤田委員長）
・今年度も同じメンバーで継続して活動する.
・ハザード曲線または，生起確率つき地震動に対してライフサイクルコストを最小化.
　今年度,
　　安全性照査地震動は，生起確率地震動群の１つとする.
　　計画時に地震時の経済性を検討してみる.

　　ネットワーク全体の純便益最大化が課題.
　　利用者の間接被害は阪神高速の直接被害の 10 倍以上.

④認証機関 WG（当麻委員）
・北原委員が幹事になっていただく.
・土木学会土木技術推進機構の了解が得られれば，認証評価事例の結果を報告したい.
・構造工学委員会・性能設計推進のための審査体制検討小委員会では，全国大会の研究討論会でセッションが企画されている．この委員会に本委員会から北原委員がメンバーに参加する方向で調整する.

３．委員会 HP について（工藤委員）
・会員，一般向けの質問への情報提供サービスについては，現行のままの“ メールでのご意見，ご要望，ご感想等を募集 ” とする.
・委員名簿を更新すること.
・小委員会活動として，活動状況，議事録，配布資料（委員許諾分），活動成果を公開.
・WG 活動については，各ＷＧで担当幹事を決め，WG のホームページを作成し，小委員会からリンクを貼る.（酒井が WG 幹事に依頼）
・各 WG のホームページでは，活動状況，議事録，配布資料，活動成果等を公開する．その他の内容は各 WG に一任する.
・委員会の活動成果としての，耐震設計ガイドライン，新しいレベル 1 の考え方を公開し，意見を募集する.
・主要サイトへのリンク先について
　適切なリンク先を委員から推薦いただく.
　本委員会活動に関連する委員会の HP にリンクを貼る.

４．その他
　メーリングリストの更新（中島委員が確認）
　次回委員会は半年後に開催予定.